

1 株式会社タムロン

	各社の考え方
① 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none">● 企業活動全体におけるCO2排出量を把握し、環境負荷低減活動を推進するため。
② 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none">● 外部の環境関連調査への回答、ホームページへ算定結果を掲載し、ステークホルダーに取組みを情報開示していく。● 環境負荷の高いカテゴリーを特定し、負荷低減活動の参考とする。
③ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none">● 環境負荷が大きいカテゴリーを特定し効果的なCO2排出量削減に繋げることができる。● ステークホルダーに取組みがアピール出来る。
④ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none">● 関係部門（工場、事業部、総務、情報システム）から1次データを入手し、ISO管理部門において算出した。

2

株式会社タムロン

	各社の考え方
⑤ サプライチェーン 排出量の削減に 向けて	<ul style="list-style-type: none">● カテゴリ1（購入した製品及びサービス）及びカテゴリ4（輸送・配送）の占有率が大きく、継続して削減の可能性を検討する。
⑥ サプライチェーン 排出量算定の 課題	<ul style="list-style-type: none">● カテゴリ1における購入部品に対する排出原単位の割り当て及びカテゴリ4における製品出荷に対する輸送経路の把握、検証、また、海外工場の関与するスコープ3データの把握、検証。
⑦ その他 （任意）	—

3

株式会社タムロン

カテゴリ	算定方法	※算定対象期間：2020年1月～2020年12月
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 調達金額（使用部材、消耗品、サービス等）	● SC-DB（※1）
カテゴリ2「資本財」	● 設備投資金額	● SC-DB（※1）
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● エネルギー種類別の購入量（ガソリン、重油、電力、灯油等）	● IDEA-DB（※2）
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	● 輸送重量、輸送距離（シナリオを設定しトンキロ法で算出）	● SC-DB（※1）
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種類別重量	● SC-DB（※1）
カテゴリ6「出張」	● 交通費支給額（出張旅費）	● SC-DB（※1）
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 交通費支給額（通勤）	● SC-DB（※1）
カテゴリ8「リース資産（上流）」	● 営業拠点活動（賃借している建築物の床面積）	● SC-DB（※1）
カテゴリ9「輸送、配送（下流）」	● 該当活動なし	● -
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● 該当活動なし	● -
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 製品の消費電力、販売数量	● SC-DB（※1）
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 製品の部材別重量、販売数量	● SC-DB（※1）
カテゴリ13「リース資産（下流）」	● 該当活動なし	● -
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 該当活動なし	● -
カテゴリ15「投資」	● 該当活動なし	● -
「その他」	● 該当活動なし	● -

※1「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量の算出のための排出量原単位データベースVer.3.1」

※2「Inventory Database for Environmental Analysis Ver.2.3（サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用）」

4

株式会社タムロン

サプライチェーン排出量算定結果

	内容	割合
カテゴリ1	購入・取得した全ての製品およびサービスの取得、製造、輸送	65.82%
カテゴリ2	購入または取得した資本財の製造及び輸送から発生する排出量	19.32%
カテゴリ3	購入した燃料の上流側（資源採取、生産及び輸送）の排出及び電気、熱の製造過程における上流側の排出	2.41%
カテゴリ4	購入した製品・サービスのサプライヤーから自社への物流（輸送、荷役、保管）に伴う排出	9.86%
カテゴリ5	事業から発生する廃棄物の自社以外での「廃棄」と「処理」	0.20%
カテゴリ6	従業員の出張等、業務における従業員の移動に際して発生する交通機関から排出される排出量	0.05%
カテゴリ7	従業員の工場・事業所への通勤に使用する交通機関から排出される排出量	1.85%
カテゴリ8	賃借している倉庫等の操業に伴う排出量	0.01%
カテゴリ11	販売した製品・サービスの消費者による使用の排出量	0.08%
カテゴリ12	販売した製品本体及び容器包装の使用済み時の廃棄と処理	0.40%